

JEED事務職員キャリアパスモデルケース

JEED事務職のキャリアパスについて、モデルケースをもとにご紹介します。

全国型

JEED本部と全国の支部・施設で勤務する事務系総合職



地域限定型

特定のエリアで勤務する事務系総合職

※ 39歳までの間に全国型へのキャリア変更が可能です。



本人の希望や能力、適性に配慮しながら人事異動が行われます

全国型 地域型

係員

全国型 地域型

JEED職員として基本的な知識・スキルを身に付け、業務を遂行する(本部係員(全国型のみ)、支部・施設係員)。

施設係長

全国型 地域型

施設業務の中心として、経験や専門知識を用いて業務を遂行する。また、部下や後輩の指導を行う。

本部係長

全国型

本部業務の中心として、経験や専門知識を用いて業務を遂行する。また、部下や後輩の指導を行う。

施設課長

全国型 地域型

課内のマネジメント、業務実績の管理等を行うとともに、部下の人材育成を行う。

本部課長補佐

全国型

担当業務の事業計画や方針立案を行う。

施設長

全国型 地域型

施設のマネジメント、業務実績の管理等を行う。

本部課長・次長・部長等

全国型

担当業務の方針決定、マネジメント等を行う。

22歳
係員

32歳
施設係長

本部係長

施設課長

本部課長補佐

施設課長

施設長

本部課長等

施設長

キャリア形成期

キャリア円熟期

人事異動により規模の異なる支部・施設での勤務を通して、総務業務や雇用支援業務の各分野を経験します。

20～30代の全国型 異動モデルケース



※全国型において、本人の勤務希望地や適性を考慮し、本部勤務をせずに支部・施設の係員、係長として歩むキャリアもあります。

業務管理、事業運営能力を習得し、管理職としてのステップへ進みます。



※ 22歳大卒入構者のモデルケースです。モデルケースに記載のある年齢は前後することがあります。

※ 結婚、出産、介護等の事情について、可能な限り配慮を行います。

JEED職業訓練指導員(職業能力開発職)キャリアパスモデルケース

JEED職業訓練指導員のうち、
職業能力開発職のキャリアパスについて、モデルケースをもとにご紹介します。

* 東北地方を希望ブロックとした者のケース



北海道ブロック

北海道

東北ブロック

青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

関東ブロック

栃木、群馬、埼玉、山梨、茨城、千葉、東京、神奈川

東海ブロック

岐阜、静岡、愛知、三重

近畿ブロック

滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

北陸ブロック

新潟、長野、富山、石川、福井

中国ブロック

鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川[※]

四国ブロック

徳島、香川、愛媛、高知、岡山[※]

九州ブロック

福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

[※]岡山、香川は、複数ブロックに跨ること。
[※]ブロック割は、変更する場合があること。

令和7年4月以降の採用者は、**原則として希望ブロックを中心に配属し、生活の本拠地のあるブロックでの勤務が可能**です。

指導員(テクノインストラクター)

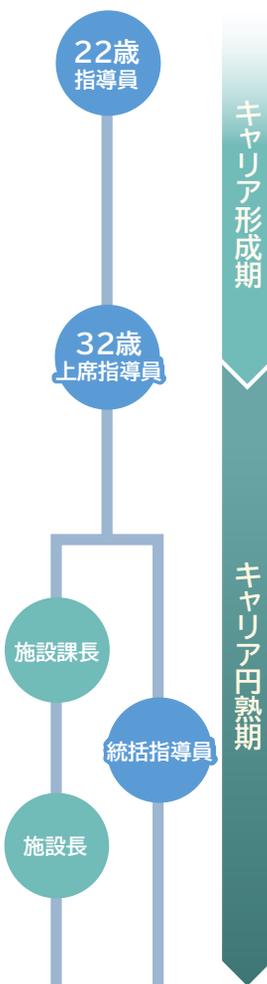
訓練業務の基本的な知識・スキルを身に付け、業務を遂行する。

上席指導員

各訓練科、各専攻における訓練業務の中心的役割として業務を遂行する。また、後輩の指導を行う。

統括指導員

施設管理職と連携しながら施設全体の指導員の取りまとめ役として業務を遂行する。



- ・ **初任地はポリテクセンター**
OJTにより訓練業務や訓練に付随する業務について学びます。
- ・ **専門性の拡充**
職業大が実施する指導員研修や実際のものづくり現場を体験する短期企業派遣研修等により、専門性の向上を図ります。

- ・ **専門性を活かした活躍**
自身の専門性をさらに高めて、テクノインストラクターとしての価値を高めます。
- ・ **適性に応じたキャリアパス**
生涯テクノインストラクターとして活躍するほか、本部技術職・職業大研究員を経て、管理職となるキャリアパスもあります。



※ 22歳大卒入構者のモデルケースです。モデルケースにおける年齢は前後することがあります。
 ※ 原則的な配置、異動ルールであり、諸般の事情により適用できない場合があります。
 ※ 結婚、出産、介護等の事情について、可能な限り配慮を行います。
 ※ 訓練系管理職から施設長等の幹部を目指す場合は、管理職登用の時点から事務職(総合職)と同一の取り扱いになります。

JEED職業訓練指導員(障害者職業訓練職)キャリアパスモデルケース

JEED職業訓練指導員のうち、
障害者職業訓練職のキャリアパスについて、モデルケースをもとにご紹介します。

原則として国立職業リハビリテーションセンター(埼玉県所沢市)または国立吉備
高原職業リハビリテーションセンター(岡山県加賀郡)での勤務となります。

指導員(テクノインストラクター)

特別な支援を要する障害者を対象とした訓練業務の基本的な知識・スキルを身に着け、業務を遂行する。
また、開発した訓練内容、指導技法等について、他の障害者職業能力開発校に技法普及を行う。

上席指導員

訓練業務の中心的な担い手として、訓練指導、訓練管理、就職支援業務を遂行する。
また、後輩の指導を担当する。

主幹指導員

施設管理職と連携しながら、障害者職業訓練職に対する助言を行う。
また、指導員の育成を牽引する。

22歳
指導員

32歳
上席指導員

主幹指導員

施設
管理職

キャリア形成期

キャリア円熟期

障害者職業訓練職の役割には、
○特別な支援を要する障害者に対する職業訓練の実施
○先導的な障害者職業訓練の実施
○事業主の訓練ニーズの把握と在職者訓練の効果的な実施
○他の職業能力開発校等に対する技法普及があります。

このような役割を主に担えるように、施設勤務1年目に行う初任者OJTを始め、技法普及業務に係るOJT、様々な専門研修などを実施し、障害等の知識、障害者の訓練指導・就職支援に関するノウハウなど、業務遂行上必要となる基本的な知識・スキルを身に付けられるよう、組織全体で職員の実成長をサポートしています。

国立職業リハビリテーションセンター、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター、本部等での業務経験を積み重ね、キャリアが円熟していきます。
また、最終的には管理職等へのキャリアルートがあります。



※ 22歳大卒入構者のモデルケースです。モデルケースにおける年齢は前後することがあります。

※ 原則的な配置、異動ルールであり、諸般の事情により適用できない場合があります。

※ 結婚、出産、介護等の事情について、可能な限り配慮を行います。

※ 上記のキャリアルート以外に、職業能力開発校から障害者職業訓練職になるケース、障害者職業訓練職から本部勤務となるケースなどがあります。